

# 趣 意 書

謹 啓 貴台におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃よりホッケー競技の発展について格別のご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

栃木県のホッケーは、昭和55年開催の「栃の葉国体」を契機に普及し、以来、国体をはじめとする各種全国大会での上位入賞や2004年のアテネオリンピックから4大会連続で日本代表選手を輩出しており、栃木県のスポーツ振興に寄与しております。

昨年は、第81回全国高等学校ホッケー選手権大会において、今市高等学校男子ホッケー一部が31年振り5回目の優勝。また、第60回全日本社会人ホッケー選手権大会では、**LIEBE** 栃木が悲願の初優勝を収め、そして、第50回全国高等学校選抜ホッケー大会では、今市高等学校男子ホッケー一部が33年振り3回目の優勝を果たし2冠を達成しました。

さて、来年の2020年は、待ちに待った東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。県ホッケー協会としては、この東京オリンピックや2022年第77回国民体育大会の栃木県開催において、引き続き栃木からオリンピック選手の輩出及び栃木国体でのホッケー競技の総合優勝を目指し、その世代となる小中高生等の選手育成に力を注ぐ必要があります。

そこで、更なる一貫指導事業の充実や、両大会の際に主力選手となる「ターゲットエイジ」層にむけた強化及び、ホッケーの魅力を伝える情報発信を今後も進めてまいります。

しかしながら、その事業費等においては、関係機関からの協力及び援助はあるもの資金不足が懸念されるところです。

つきましては、この趣旨をご賢察の上、将来に向けた栃木県のホッケー競技の発展のため、ご協賛を賜りたく何卒お願い申し上げます。

謹 言

平成31年3月吉日

栃木県ホッケー協会

会長 大 嶋 一 生